

和泉市回答

教育課程の編成権は学校にある エアコンのメンテナンスは市教委で対応

十一月二六日、泉北教組は、職場から寄せられた切実な要求を基にした「教育要求書」の交渉を和泉市教育委員会と行いました。主な内容を2回に分けて掲載します。(その1)

(1) 安心・安全な少人数学級(1学級20人程度)

をすみやかに実施するよう、強く府や国に働きかけること。また、それが実現していない段階でも、市独自で小・中学校の35人以下学級の措置をとること。

【回答】小中学校の少人数学級については、府・国に対して要望を継続する。市独自の小・中学校の35人以下学級の措置など市費負担による教員加配については、平成29年度9月から、小学校3年生算数の少人数指導に係る非常勤講師を配置している。

【追加】少人数学級の必要性については認識している。小学校3年生算数の少人数指導に係る非常勤講師について、週あたりの残時間がある学校は、学年・教科のしば

りなく柔軟に運用できるようにしている。

(2) 府教委がすすめる「教職員の評価・育成システム」の撤回を市教委として求めること。とりわけ、賃金リンクについてはただちに撤回すること。

【回答】「評価・育成システム」については、学校組織の活性化及び教職員の資質向上を図るべく実施する。要望があることは、府に伝えていく。

【追加】校長会でいかに説明を行った。課題があるという意見があることを府教委に伝えていく。

校にある。

【回答】教育法規に照らして、学習指導要領に準拠するとともに、公教育としての立場から、府・市教委が示す基準や留意事項等に基づいて、各学校で編成するものである。

【追加】教育課程の編成権は学校にある。

標準授業時数を大幅に上回って教育課程を編成する必要はない。

【回答】学習指導要領に基づき、適正に編成するものである。

【回答】新学習指導要領の実施にあたっては、必要な研修実施や加配を活用するなどして、着実に実施に向けて取り組んできたところである。

(4) すべての教室に空調設備をつけること。特に未設置の特別教室への設置を速やかに行うこと。さらに、エアコンの補修や総合的なメンテナンス等については、特別な予算を組むなど教育委員会の責任で実施すること。

【回答】昨年度までに、全小中学校普通教室へ空調設備を完備した。その他未設置の教室への設置は、今後の検討課題であると認識している。また、メンテナンス等への対応については、予算確保に努める。

【追加】家庭科室や理科室など特別教室への空調設備設置については、今後の検討課題である。

る「大阪府チャレンジテスト」に参加しないこと。

また、中止を府教委に求めること。とりわけ、同テストの結果をもとに、中学校の評定範囲を決めたりすることについては、即刻中止するよう府教委に強く求めること。また、府が実施予定の「小学校すくすくテスト」は撤回するよう府に求めるとともに、同テストに参加しないこと。

【回答】チャレンジテストは、学校が生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図ることや、生徒が自らの学力に目標を持ち、その向上への意欲を高めることを目的に実施されるものであり、参加する必要があると考えている。また、中止の申し入れは困難であるが、そのような声があることは伝える。小学校すくすくテストは、児童の学力を把握・分析すると共に、教育施策の成果と課題を把握・検証し、その改善を図ることを目的に実施

【追加】家庭科室や理科室など特別教室への空調設備設置については、今後の検討課題である。



されるものであり、参加する必要があると考えている。また、撤回を求める声があることは伝える。

【追加】「すくすくテスト」の問題点は府教委に意見を上げていく。結果の公表については、検討中である。支援学級在籍児童については、柔軟に対応していく。

(6) 「全国学力・学習状況調査」の中止を国や府教委に求めるとともに、同調査に参加しないこと。また、序列化につながる学校別の正答率結果公表を行わないこと。

【回答】全国学力・学習状況調査については、教育施策及び教育の成果と課題を把握し、その改善を図るため、参加が必要であると考えている。また、結果公表については保護者等への説明責任が重要であることから行うものである。